

敬老パス **事業系** ごみ 有料化 など

阿部市長「行革」プラン

日本共産党が 撤回を迫る

許せません

自民市公ネのお年寄りじめ

「敬老無料パス」の継続で、多くの高齢者の足を守ってとの切実な声を踏みにじり、日本共産党以外の政党によって「敬老パス」の有料化が強行されました。

横浜市では、非課税者は1年間のパス2500円なのに、川崎は非課税者でも所得に関係なく一律、1年間1万2千円、3ヶ月3千円、1カ月千円、又は乗車一回100円です。これで、お年寄りには新たに7億7559万円の負担増が。

有料化により、利用率が落ち込めば赤字路線が増え、新たな補助金の増が市財政基盤を一層深刻にすることになり、市バス財政にも大きく影響します。



市庁舎前で座込み抗議をする市民団体

長びく不況や社会保障の改悪など、くらしと将来への不安が、かつてなく高まっています。こうした時こそ、市民のくらしを守るのが、地方自治体である川崎市政の役割です。ところが阿部市長は、国の地方財源削減を「渡りに船」とばかりに、さらに市民いじめの「行革」を強行。日本共産党は対案を示し、その撤回を求めました。

国の地方財源きりすて

川崎市への影響

82億円

その大半を市民に転嫁

事業名	市民負担の増	市の「行革」による見直し額
事業系ごみの10kg以下控除廃止	26億4000万円	4億5534万円
下水道料金の値上げ	18億9900万円	18億9900万円
敬老パスの有料化	7億7559万円	7億7559万円
粗大ごみ有料化	3億6151万円	3億6151万円
重度障害者等の入院時食事代助成の廃止	1億9031万円	1億9031万円
葬祭場使用料金値上げ	4623万円	4623万円
仮設トイレし尿処理有料	3207万円	3207万円
合計	59億4471万円	37億6005万円

上表の「市の『行革』による見直し額」は、市の負担減もしくは収入増。

声 敬老パスが有料になれば、病院に通うことも自然に手控えざるを得ません。老人の一人暮らしの孤独死が叫ばれており、有料化は年寄りに早く死ねというに等しい。
匿名 男性

事業系ごみ収集でも混乱が

声 事業ゴミが業者との契約になったが、4月からというのに、どの業者と契約すれば安心なのか判らない業者がまだたくさんいるし、収集業者のほうからも量が少ないと採算が取れないからと断られるケースも続出している。市のほうも、落ち着くまで弾力的にやって欲しい。
男性自営業者

市民いじめの一方で

新たな大規模開発は推進

市民に大幅な負担増を押し付ける一方で、羽田空港の拡張事業に関連した「神奈川口構想」をはじめ、大企業の遊休地の活性化と称して、臨海部への大規模な市税投入に道をひらく、基盤整備等の調査費7,115万円を計上。「かわさき港コンテナターミナル」に見られるような、破綻や行き詰まりに直面している大規模開発を、何の反省もなく、さらに推進しようとしています。

62億円の累積赤字がかえ

かわさき港コンテナターミナル(株)

ついに
破産

破産により川崎市が出資した資本金3億1000万円と融資銀行への損失補償8億円は戻ってこないことになります。

さらに銀行への指導念書による市の負担など不透明要素も。事業を推進した市の責任は重大です。

市民負担は避けられます

日本共産党が予算くみかえを提案

日本共産党以外の政党がそろってこの予算案に賛成を表明する中で、日本共産党は唯一、市民のくらし・小規模事業者の経営を守るために、最低限これだけは現状のサービス水準を維持していくべき緊急性のある課題にしばり、予算の組替えを提案しました。

不要不急の基金からの借り入れなどによって、市の主な予算削減計画の約38億円を確保し、敬老無料パスを守り、事業系ごみの10kg以下控除の継続、下水道料金の値上げをやめるなどの予算に組み替えるよう要求しました。

不要不急の基金から38億円を
借り入れ、市民のくらしを守る



皆様のご意見をお聞かせください



159号 2004年 4月(3月市議会報告)
日本共産党川崎市議員団
日本共産党川崎市委員会 川崎市川崎区砂子2-8-1
シャンボール川崎互恵ビル401電話044(211)3731

ホームページ <http://www.jcp-kawasaki.gr.jp>